



テュートリアル課題 おなかが痛い

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2008
号	B3
発行年	2008-05-12
URL	http://hdl.handle.net/10470/29120

2008年度 Block 3

課題 No.5

「おなかが痛い」



※断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがあります。

羽鳥 隆（消化器外科学）

課題シート

2008-B3-5

シート1

おなかが痛い

Aさん（50歳、男性）は、元来、酒好きで、毎晩、日本酒2-3合/日を飲んでいました。今年の新年会では久しぶりに旧友と再会し、1升近く飲んでしまいました。翌日、明け方より体調不良を訴えています。

Aさん「（みぞおちのあたりを押さえながら）胃のあたりのおなかと背中が圧迫されるようにすごく痛くて、どうしたのかなあ。」

Aさんの長女「お父さん、飲みすぎたんじゃないの。医者に診てもらった方がいいわよ。」

課題シート

2008-B3-5

おなかが痛い

シート2

2人で近くの病院を受診しました。

Aさん「今朝から急におなかが痛くなり、背中も痛みます。冷汗も出て、ちょっと息苦しさを感じます。喉も渇きます。どこが悪いのでしょうか。」

Aさんの長女「昨日、新年会でたくさん飲んだそうです。」

担当医はAさんの表情を見ながら、腹部を診察しました。

担当医「（みぞおちのあたりを押しながら）ここが痛いそうですね。すぐに検査をしましょう。痛くて大変と思いますが、急いで検査をしますので頑張って下さい。それから少し脱水もあるようですので、点滴をします。検査結果が分かり次第、ご説明いたします。」

課題シート

2008-B3-5

おなかが痛い

シート3

検査終了後、Aさんと長女は担当医から病状について説明を受けました。

担当医「ちょっと飲みすぎましたね。脾臓にひどい炎症が起きてしまったようです。急性脾炎という病名です。しっかりと治療する必要がありますので、すぐに入院して下さい。」

Aさん「やっぱり、入院ですか。仕方ありません。よろしくお願いします。」

Aさんの長女「先生、父はそんなに悪いのですか。心配です。」

担当医「そうですね。脾臓という耳慣れない臓器だからなおさらですね。でも急性脾炎というのは他の臓器にも悪影響を与えることがあるので、十分な治療を行う必要があります。経過によっては手術が必要な場合もありますので、しばらくは集中治療室で治療をしましょう。」

課題シート

2008-B3-5

おなかが痛い

シート4

幸い、Aさんの病状は重篤化せず回復に向かい、手術をせずに済みました。

Aさんの長女「父が元気になって助かりました。ありがとうございました。」

Aさん「いやあ、胃が悪いかと思っていたら、膵臓が原因とはなあ。飲みすぎですか？」

担当医「そうですね。みぞおちあたりの痛みだと、胃が悪いと思う人が多いですね。でも、いろいろな原因でおなかは痛くなりますよ。今回の急性膵炎の原因はやはり飲みすぎですね。幸い回復しましたが、命を落とす人も珍しくありませんから、もうお酒はやめた方がいいですよ。」

Aさん「そりゃあ、もう当分飲みませんよ。いつ頃からなら、飲めるようになりますか？」